

平成29年度
四倉中学校

学校だより

2月6日(火) 第36号

文責 校長 中根 猛

引き続きインフルエンザにご注意ください

引き続きインフルエンザの流行にご注意ください。先週から今週にかけてのインフルエンザや
感染性胃腸炎で出席停止になった生徒数の推移です。依然として、多くの罹患者が出ています。
()は、欠席者の内、感染性胃腸炎の数です。学校では、30日(火)と31日(水)は、部
活動を中止し学活終了後に下校させました。引き続きうがい手洗いやマスクの着用、教室の換気
に努めていきます。ご家庭でも、外出の際には、なるべく人混みを避ける。マスクを着用する。
抵抗力を高めるために栄養や休養、特に睡眠時間を確保するなど予防に努めてください。

なお、心配された県立高校I期選抜試験ですが、志願者42名全員が無事に受験することがで
きました。罹患者は、減少してきましたが、今後の体調管理や予防に注意させたいと思います。

26日(金)	29日(月)	30日(火)	31日(水)	1日(木)	2日(金)	5日(月)
12(1)	12(1)	14(1)	12(2)	10(2)	9(1)	3

市中学校新人駅伝大会 大健闘 男子11位 女子4位

いわき市中学校新人駅伝大会が2月3日(土)、21世紀の森周辺周回コースで開催されまし
た。2学期末より朝練習をスタート。極寒にも負けず、たくさんの生徒がひたむきに練習に参加
し頑張ってきました。新人大会は、一区間2,3kmで、男子6区間、女子5区間で競われまし
た。各選手ともベストを尽くした走りで見せた男子が11位、女子が4位という素晴らしい
成績を残しました。また、大和田貴治君が男子全走者の中で2位となる素晴らしい走りを見せて
くれました。各区間を走った選手の方を紹介いたします。()の数字は、学年です。

男子 1区 大和田貴治君(2) 2区 猪狩雄大君(1) 3区 山内 颯君(2)
4区 絹和 快君(2) 5区 新谷倅生君(1) 6区 櫻井快来君(2)
女子 1区 染野静来さん(1) 2区 片寄莉夢さん(1) 3区 根本美香さん(1)
4区 菅波実桜さん(2) 5区 畑中ゆりあさん(2)

ユネスコ作文最優秀賞(市教育長賞)を受賞

ユネスコ作文コンクールに応募した千葉奈央さんが最優秀賞(いわき市教育長賞)を受賞しま
した。中学校1年生の時に「いわき市小中学生書写交流撫順市訪問団」の一員としていわき市の
友好都市、中国撫順市を訪問した体験から異文化交流の大切さについて考えを深めたもので
す。「書のふるさと中国を訪ねて」と題した作文の書写交流の様子とまとめの部分をご紹介します。

私はこの席書に向けて、論語の「温故而知新」という言葉を選び、練習を重ねてきた。そ
れでも、大勢の人が見ている中で作品を書くのは、緊張で手が震えた。私は深呼吸をして、
半切という大判紙に五文字を一気に書き上げた。練習無しの上、現地の墨の感触がなじまず、
満足できる出来ばえとはならず悔しかった。その後、現地の中一男子が、手本なしで大判の
紙に三十もの文字をさらさらと書き上げたことには大変驚いた。全員が作品を仕上げた後、
書道家の先生から入筆の仕方や、運筆の速さを調節して墨の潤滑をつけることなどご指導い
ただいた。私は中国の王羲之の「蘭亭序」という書の臨書を学んでいたが、やはり本場中国
は違う。私はまだまだ力不足、もっと上を目指したいと強く思った。日中の作品を交換して、
書写交流会を無事に終えることができた。

その後は、撫順市内や清王朝初期の皇居、初代皇帝のお墓など名所旧跡を視察した。日本
と中国の深いつながりや、清王朝文化の一端に触れ、中国をぐんと身近に感じた。

最終日。お世話になった方々に別れを告げ、中国をあとにした。中国の方達はとても親切
で、充実した五日間を送ることができた。

「外国に出て、日本とは違う文化を学んだり、慣れない環境で過ごしたりすることを若いう
ちから経験することは大切だよ。」

と、私に話してくれる人がいた。ずっと同じ文化や環境に浸っていたのでは、他の文化や考
えを理解することはできない。実際に相手の国の人々や文化と触れ合い、その魅力を知り、
自分の国との違いを学ぶことが大切なのだ。それにより、日本の文化や環境のすばらしさを
改めて感じることもできるのだ。私も、中国の書に触れたことで、改めて書の奥深さを知っ
た。日本は、中国から伝わった書を、修業の道「書道」として極めてきた。私は、これから
もこの美しい文化を通して、様々なことを吸収し、自分を高めていきたい。